



伊

議
会
だ
よ
り

し
ん
せ
ん

第62号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 傑奄美新社印刷

「第22回全国闘牛サミットin天城大会」

令和元年5月4日

天城町松原闘牛場

撮影：伊仙町地域おこし協力隊 加川 京

平成31年 第1回 伊仙町議会定例会(3月7日~20日)全議案

議案番号	議案件名	備考
同意第1号	教育委員の選任	同意
議案第1号	伊仙町立西公民館の指定管理者の指定	原案可決
議案第2号	伊仙町課設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第3号	伊仙町税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第4号	伊仙町医師修学資金貸与条例の制定	原案可決
議案第5号	伊仙町義務教育就学児医療費の助成に関する条例の制定	原案可決
議案第6号	伊仙町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第7号	平成30年度伊仙町一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第8号	平成30年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第9号	平成30年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第10号	平成30年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第11号	平成30年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第12号	平成30年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第13号	平成30年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第14号	平成31年度伊仙町一般会計予算	原案可決
議案第15号	平成31年度伊仙町国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第16号	平成31年度伊仙町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第17号	平成31年度伊仙町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第18号	平成31年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算	原案可決
議案第19号	平成31年度伊仙町簡易水道特別会計予算	原案可決
議案第20号	平成31年度伊仙町上水道事業会計予算	原案可決
(追加議案)		
議案第21号	30災第4号 前泊漁港沖防波堤災害復旧工事請負契約	可決
議案第22号	30災第5号 鹿浦港防波堤(西)災害復旧工事請負契約	可決
議案第23号	徳之島交流ひろば「農林水産物直売所」の指定管理の指定	原案可決
以下余白		

平成31年度第1回伊仙町議会定例会において

平成31年伊仙町一般会計予算他6特別会計予算審査特別委員会

(一部抜粋※委員長報告につきましては、町ホームページ「会議録」をご確認下さい。)

去る3月7日の本会議において、当初予算審査特別委員会が設置され、「平成31年度伊仙町一般会計他6特別会計予算」を付託し、3月11日～14日までの4日間審議致しました。そのなかで、3月11日に委員並びに議長を含む14名と事務局職員2名、執行部からは大久保町長が同行し、現地調査を行いましたので主な項目について報告いたします。

伊仙中学校校舎10号棟大規模改修工事請負費について調査を行いました。現在、10号棟にある特別教室の音楽室・技術室等が危険なため使用できず、多目的ホールを臨時に使用して授業を行っている現状であるとの説明がありました。平成30年度に実施している校舎改修調査の結果報告があり次第、財政及び学校や生徒の意見を踏まえ早急に改修工事が新築工事を実施し、従来通り特別教室での授業ができるよう要望いたしました。



伊仙馬根線道路照明整備工事請負費は、本年度に7基を予定しているとの説明でありましたが健康増進のため多くの町民が夜間のウォーキングコースとして利用していること等を考慮しJAあまみ伊仙支所までの早期完成が図られるよう切に要望いたしました。



義名山運動公園管理棟改修工事請負費について、義名山運動公園利用者の利便性確保のため利用者の意見も聞きながら利用しやすい管理棟の改修を要望いたしました。



県営畑総事業第二面縄2期地区町負担金について、埋蔵文化財調査や客土、サンゴ礁破碎等で、事業費が増加しているとの説明でありました。また本地区は丘陵地のため山成り工法が取り入れられ3段法面と極端に高台となっている農地もあり防風などの対策上、受益者から苦情もあり、受益者分担金の滞納につながっているとの指摘もありました。工事費増大等の関係もあるとは思いますが、受益者の意向も考慮していただく事と大雨などの豪雨時に下流域が被災しないよう排水流末の分散対策も要望いたしました。



県営畑総事業目手久地区の排水路工事について、県と町の連携不足により、排水路にコンクリート側溝を設置せずに土側溝のまま事業完了した事が要因のようですが、補助事業とはいえ今後は連携を密にし、大雨で圃場が流出してから、排水路工事をするような事が無いよう要望いたしました。



第二鹿浦橋橋梁上部工について平成31年度末で完成し共用できるとの説明でした。架橋の早期完成と、台風時の流出対策、あわせて昨年も要望しましたが、工事現場出入口に、漁業者等の利用者に事業期間と進捗状況を周知するため立て看板を設置するよう要望いたしました。



平成31年 第1回定例会

一般質問



樺山 一議員

平成28年度伊仙町一般会計歳入歳出決算について

問

平成28年度多世代交流機能拡張事業が完了していないにもかかわらず、決算書を偽装作製し、監査委員に審査を付し、また当該決算審査で議会に認定させた件について、町長の考えを問う。

「虚偽作成という事実はない」

答

地方自治法及び地方自治施行令に則り決算書を作成しており、決して虚偽作成という事実はない。

(町長)

(総務課長)

普通地方公共団体の出納閉鎖は、翌年度の5月31日をもって閉鎖するとの規定を設けており、この日以降の一切の現金の移動はできないものが原則となつて

いる。したがって、決算は5月31日をもって確定するものであり、当該備品購入事業での未納が発見された時はすでに出納閉鎖後であり、その決算は動かしがたいものであると認識している。

問

経過として、契約の不履行による契約解除、支払い済み金額の返還請求、それと並行し地方創生補助金の実績報告の訂正を行い、契約に係る指名停止措置要綱に従って指名停止措置を行うべきだったのではないかと問う。

(総務課長)

答

町として、伊仙町不適正事務処理方針を策定し、各職員、管理職が基本的な職務規程にのっとり、一地方自治体としてなすべき全ての事務執行に関し、地方自治法、地公法を熟知し、適切な事務執行に努める。また、チェック体制、管理体制を強化し、伊仙町の信頼回復に努めていきたい。

環境行政について

問

新規の一般廃棄物収集運搬業許可をしたことで、一般廃棄物の収集及び運搬業の許可取消請求事件が発生しているが、結審した事案、係争中の事案、また裁判には多額の公費が支出されているが、その内容について問う。

(総務課長)

答

当該事件に支出した経費として、裁判に関する資料等の通信運搬費7,432円、裁判への参加、弁護士との打合せ旅費として9件39万3,460円、弁護士経費・委託料として184万6,800円、賠償金として7万9,978円で合計232万7,670円となっている。

(町長)

本町の浄化槽設置率は県下においてワースト2であり、町としても合併浄化槽を推進していく中で、浄化槽の管理体制に対し町民からの様々な意見もあった。適正に浄化槽管理を行うには、新たな業者も必要であると考え、現在に至っていない。

問

ご承知のように、最高裁で判断するのは憲法判断、法律の重要解釈の判断のみで、事実関係の調べ直し、差し戻しあるいは却下というのが一般的と言われている。許可の取消判決を受け、他にも11件の許可取消裁判を争っているが、そのような状況下での最高裁上告となる。最高裁で却下された場合は、政治家としての責任をとる覚悟はあるか問う。

答

私は間違いなく最高裁で勝利する事を確信している。そうでない場合は、最高裁の結果を真摯に受け取り、その時にしっかりと判断していきたい。

(町長)

答

私は間違いなく最高裁で勝利する事を確信している。そうでない場合は、最高裁の結果を真摯に受け取り、その時にしっかりと判断していきたい。



前 徹志議員

ほーらい館運営について

問 ほーらい館を運営していくために必要な資格は何か。また、その有資格者が退職した場合は補充できるのか問う。

答 厚生労働省認定の健康増進施設として運営しており、必要とされる資格は、健康運動指導士、健康運動実践者である。今後、両有資格者ともに異動、退職の可能性があるため、資格認定講習会への参加及び資格取得に努めていきたい。

問 ほーらい館利用者が減少しているように感じられるが、利用者を増やすためにどのような取組みを行っているのか。また、トレーナーによる専門的な運動教室や指導など魅力を持ってもらう。アピールすべきではないか問う。

答 現在、1日の平均利用者数が350〜400名、そのうちプール、健康づくりプログラムに参加している方が200名程度。残りについては入浴のみの利用者となっている。会員減少した理由として、29年

度からスイミングスクールが独立したことで、天城町へのバス運行がなくなり、そのバス利用者の利用がなくなつた事等が考えられる。

問 町職員の皆さんにも入会の協力をしていただき、伊仙の財産であるこの「ほーらい館」の運営が未来永劫に続けられるよう一丸となって協力していただきたいと私は考えるが、町長の考えを問う。

答 町長 会費に関して、本土にある同様な施設では倍以上の月額になると思うが、以前役場職員と意見交換した中で、やはり料金が高いという話であった。今後、運営審議会において協議し、様々な形で割引等が出来るよう検討していきたい。

答 (町長) 今現在、子ども達の夏休み期間限定の半額割引や学生割引などの取組みを行っている。

ている。また今年度は実業団やトライアスロン協会にも利用していただいております、今後も集客力を上げていけるような様々な取組みを行っていきたい。



いきいき教室



清 平二議員

落石・倒木注意箇所の対策は

問 町内の落石・倒木注意箇所について、早急に対応

する必要があると思うが、今後の対応や解消計画を問う。

(建設課長)

答 今現在の対応として、注意喚起の看板設置や伐採に必要なチェーンソー講習を職員に受講させている。

問 注意箇所は、注意喚起だけで良いのか。町長の考えを問う。

答 (町長) 倒木に関しては、補助事業を受けながら計画的に伐採を行っていく。また、落石に関しては、国・県と交渉しながら、補助事

業があれば可能であると考
えている。

要望

補助事業に頼って対応
するのではなく、最優
先課題は落石・倒木箇所の
解消だと考える。今後の解
消計画の提出を次の議会ま
でに求める。

**たばこ税を活用し、検診の
無償化と各種老人クラブ
の活性化を**

問

私は今年、肺がんで友
人を一人失った。このよ
うな事がないよう各種検診の
受診率向上を図り、早期発見
早期治療で、伊仙町が本当に
「長寿のまち」と言えるよう
な政策を執っていたきたい
が、今後の受診率向上対策を
問う。

(町長)

答 以前、早世ということ
が問題になったが、ま
だまだ若い方々の飲酒、喫
煙、肥満への取組みは課題
であり、県全体で取り組ん
で行けるよう強力に推進し
ていく。

(保健福祉課長)

肺がんCT検査料が7,
710円と個人負担額とし



特定検診の様子

ては高く、平成23年～28年
まで実施したが、年々受診
者が減少し、平成29、30年
は実施していない。議員か
らのご指摘もあり、31年度
は実施を計画している。

問

検診を無償化にし、検
診率の向上を図れない
か。また、平成31年度予算で
たばこ税が約3,700万円
計上されているが、これらを
活用し、各種がん検診の負担
金、老人クラブやゲートボー
ル協会、グラウンドゴルフ協会
等の団体へ還元することで、
医療費及び介護予防費の抑制
につながると思うが、町とし
てどう考えるか問う。

(総務課長)

答 たばこ税に関しては、
一般財源化し、教育予
算、健康増進、町民の福祉
のために活用されている。

農業政策について



西彦二議員

問

2年続きの台風被害を
受け、平成30年度操業
が始まり、手取り価格も下落
し、農家にとっては大変厳しい
製糖期となっている。この深刻
な状況を踏まえ、町として今後
どのような支援対策を考えて
いるか問う。

(経済課長)

答 昨年の台風被害を受
け、2つのセーフ
ティネット事業を発動し
た。町としても当該事業を
活用し、春植えに対して堆
肥や肥料、除草剤、耕運作
業などの助成を行い、農
家の意欲低下を防ぎ、反収

向上に努めたい。

要望

今後の支援策として、
商品券を支給すること
で地域の活性化に繋がると
思う。また、これ以上生産
量の低下が続くと現在の2
製糖工場が1工場になるこ
とも考えられるため、ピン
チをチャンスと捉え、生産
量回復に努めていただきたい。
い。

問

今期のバレイシヨに関し
ても、昨年同様に低価格
となっている。農家は赤字経営
を余儀なくされ大変困惑して

いるが、町としてどのような支
援策を考えているか問う。

(経済課長)

答

今年度の野菜の価格に
関して、暖冬による消
費の落ち込みに加え、生育
の前進傾向による出荷量の
増加により全国的に安値水
準となっている。町として
は、園芸振興費において、
防風ネットの設置作業の際
の支柱穴開け機械「ホール
ティガー」を3機導入する
ことを計画しており、農家
支援に努めていきたいと考
えている。

要望

徳之島3町で園芸作物
センターを建設することに
より、商品の開発、その他



春植え出発式

の面でも安定生産が可能になると考えられるため、今後ぜひ検討していただきたい。

教育関連施設について

問

町内の学校施設及び集落内の通学路などの危険箇所に関し、安全性を考慮した定期的な点検活動が行われているか問う。

答 (教委総務課長)

学校施設の安全管理については、各学校の教員が毎月安全点検を行っている。その中で改善が必要と思われる部分については、順次改善を行っている。

答 (社会教育課長)

安全推進協議会で点検を行っている。危険箇所は安全マップに記載し、児童生徒への指導を行い、各家庭へも周知している。

要望

通学路のブロック塀や危険箇所には立て看板等を設置し、児童の安全第一に努めていただきたい。

災害復旧工事の進捗状況について

問

町道木の香糸木名線、木之香ゴルフ場横の路肩が危険な状態のまま6ヶ月余り放置状態であるが、その理由を問う。

答 (建設課長)

当初8月に災害査定の影響により10月に順延され、現在は入札も完了しており、3月中には工事着工できると思われる。

町道木の香糸木名線の早期整備を

問

「重要な社会基盤である町内の町道を順次整備していく」と、平成31年度施政方針の中で述べられてい



佐田 元議員

るが、木之香糸木名線も早急に整備できないのか。また、整備するにあたり、優先順位などを決めているのか問う。

答 (建設課長)

平成24年度、28年度に実施している路面性状調査の結果とともに、交通量及び地元の要望を考慮し、優先順位を決め整備を行っている。また、平成30年度にも路面性状調査を実施しており、順次整備を行っていく予定である。

要望

当該町道は、ゴルフ場だけでなく、通勤、通学など集落内外の方々に関わらず非常に交通量も多い道路であるが、幅員が狭く、車両の離合が困難な区間もあるため、ぜひ早急な整備を要望する。



町道木の香糸木名線

指名競争入札について

問

町内業者において、指名願を出さない業者はいるのか。また、指名願の届け出をして指名されない業者はいるのか問う。

答 (副町長)

近年に指名願を出されていた業者が50業者あり、現在そのうち12業者については指名願が出されていない状況である。また、残り38業者中5業者について指名していない。その理由は、伊仙町条例中の伊仙町不当要求行為等の防止に関する要綱に抵触する違反行為があったことにより指名を控えているところである。

問

町公共工事に関し、指名競争入札、随意契約のみで行っている理由を問う。また、町内業者に限っても一般

競争入札にすることはできないのか問う。

答 (副町長)

一般競争入札は、透明性に優れ、発注者サイドの余地が少ない、客観性の高い方式ではあるが、不特定多数の業者が参加可能ということで、不良適格業者の参入を防止しにくく、また入札参加者の質を確保することが困難であるということ等を含めて、そしてまたさらに、落札したいがために低価格で入札をし、手抜き工事等の事例も見られるという事であり、ほとんどの地方自治体においては、7割近くが指名競争入札を実施している。

指名競争入札については、信頼できる業者等に発注できるという事。また、事務の簡素化が図れ、一定の競争性は確保することができ。さらには地元業者を優先的などという形の、地域要件等の考慮が可能となるという事で、指名競争入札を採用している。随意契約に関しては、地方自治法167条の2項に掲げられた要件に適合された上で契約されていると考えている。

第62回奄美群島市町村議会議員大会



去る5月15日(水)、龍郷町りゅうゆう館において、第62回奄美群島市町村議会議員大会が開催されました。大会では、大島郡内各市町村(5ブロック)や議長会から6件の議題、17項目の決議が提出され全て採択されました。また、同大会において、自治功労者表彰(※町村議会議員として10年以上在職した者)があり、伊仙町議会から永田誠議員、福留達也議員、前徹志議員、明石秀雄議員の4名が表彰を受けました。今後とも伊仙町議会の一員として、リーダーシップを発揮されることを期待し、町民の皆様へのご報告にかえさせていただきます。

議会の動き

平成31年第1回伊仙町議会定例会における諸般の報告(議長の動静)
動静期間:平成30年第4回定例会(12月14日)以降の分

月	日	行事名	場所
12月	20日	災害復旧支援要望書提出県知事・県議会議長	県庁
1月	2日	平成31年成人式	ほーらい館
	4日	消防出初式	伊仙中学校
	6日	伊仙町商工会スタッフ会新春お楽しみ抽選会	ほーらい館
	7日	奄美大島青年会議所賀詞交換会	徳之島町
	9日	大島郡正副議長研修会	奄美市
	17日	1月議員全員協議会	議会委員会室
	22日	徳之島三カ町議連役員会	天城町
	24日	徳之島三カ町議連清掃奉仕活動(火葬場周辺)	徳之島町
	25日	宮崎まさおと語る会	徳之島町
	26日	徳之島観光連盟新年会	ほーらい館
	27日	徳之島建設業協会新年会	徳之島町
	28日	伊仙町公共施設整備再編検討委員会	
	29日	県町村議会議員研修会	鹿児島市

月	日	行事名	場所
1月	30日	沖縄在住奄美郷友会懇親会	那覇市
	31日	奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会	名護市
2月	2日	馬鈴薯「春一番」出発式	義名山体育館
	14日	徳之島三カ町議会議員連絡協議会大会	天城町
	16日	保岡興治氏叙勲祝賀会	奄美市
	19日	2月全員協議会	議会委員会室
	21日	鹿児島県町村議会議長会総会	奄美市
	24日	第7回徳之島観光物産フェアイン東京	東京代々木公園
	27日	市町村長・議長合同会(各種総会)	奄美市
28日	平成31年第1回定例会告示		
3月	4日	議会運営委員会	議会委員会室
	7日	平成31年第1回定例会開会	

※掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

編集後記

町民の皆様、毎日のお仕事お疲れ様です。

我が町の基幹作物の1つであるサトウキビにおける平成30〜31年期産は、昨年襲来した台風24・25号の影響により、大幅な減収となりました。加えて、バレイシヨも2年続けて低水準での取引価格となり、農家の皆様におかれましては、大変厳しい農繁期となりましたこと、お察し申し上げます。

さて、時代は「平成」から新たに「令和」へと変わりました。

平成の自然災害を振り返りますと、雲仙普賢岳火砕流に始まり、阪神淡路大震災、新潟中越地震、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨、そして本町においては、激甚災害の指定を受けた昨年の台風24号がありました。現在、伊仙町議会においても、町民の生命と財産を守る観点から、台風時の緊急避難所対策や被災者支援等について議論が交わされております。今後、町民の皆様への負託にお応えするべく「災害に強いまちづくり」に向けて、執行部とともに取り組んで参りますので、ご理解、協力をお願いいたします。

最後に、「令和」の幕開けが、皆様にとって素晴らしい1年となりますことを祈念し編集後記いたします。

(文責 前 徹志)

議会広報編集委員会



委員長 前 徹志
副委員長 杉山 肇
委員 福留 達也
委員 上木 千恵造
委員 佐田 元